

りそな 経済フラッシュ

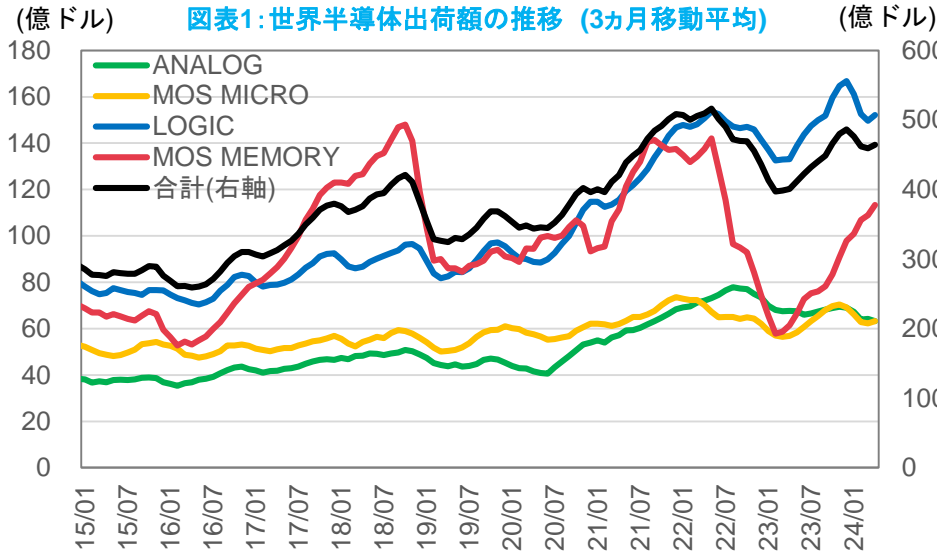
(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年7月))

◎注意事項をよくお読み下さい



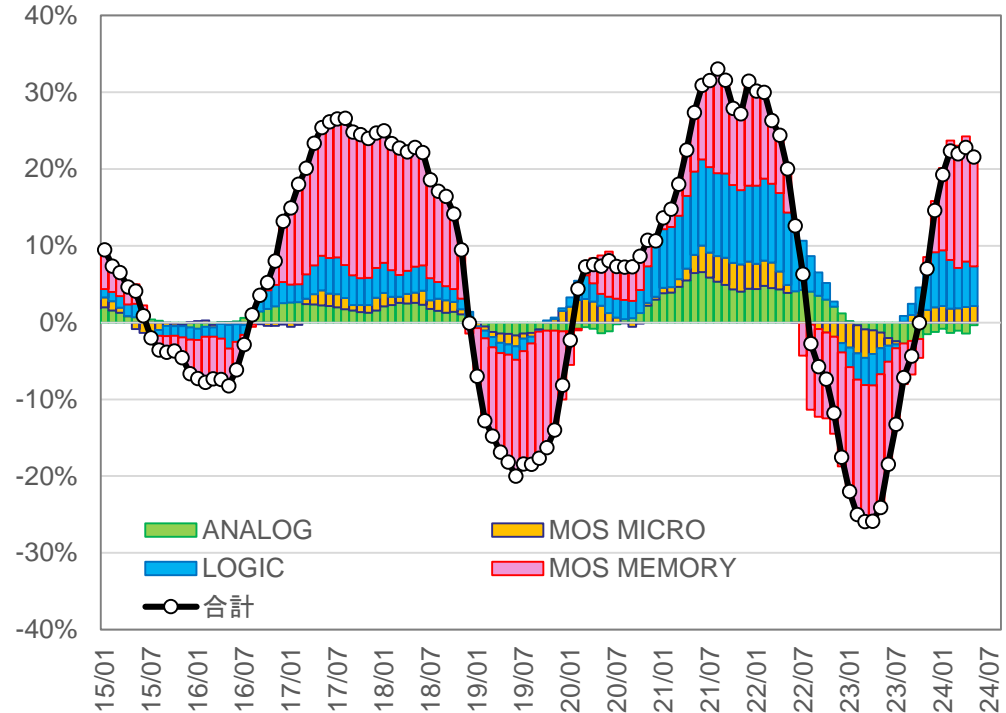
○5月世界半導体出荷額：LOGICの好調とMEMORYの回復が続く

- WSTS(世界半導体市場統計)によると、5月の世界半導体出荷額(振れが大きい3ヵ月移動平均値)は、前年比+21.6%(前月：+22.8%)と前月から減速したものの高水準を維持した(図表1~2)。主な種類別の動向をみると、LOGICが引き続き好調で前年比+12.4%(前月+14.3%)、MEMORYは昨年3月を底とする回復傾向が継続し、前年比+72.7%(前月+84.6%)となった。
- 総じて、発射台の高さから前月から成長率は減速したものの、AIへの注目が集まる中、その恩恵を受けやすいLOGICやMEMORYの好調が目立った。また、これまで出荷額はAI関連の高単価品が単価を押し上げることで増加してきたが、足元で数量面に底打ち感が出てきている点はポジティブである。AI関連以外の半導体も回復基調が鮮明となれば、情報技術関連以外の業種へも好循環が波及していくだろう。



種類	用途	主な製品
ANALOG	光や音、温度などの数値化されていない電気信号の処理・制御	スマホ テレビ
LOGIC	データ処理・機器の制御	スマホ パソコン
MEMORY	データの保存	スマホ パソコン
MICRO	データの演算・制御	パソコン 家電

図表2: 世界半導体出荷額 (YoY, 3ヵ月移動平均)



注: ICのみ集計 出所: WSTS

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年7月))

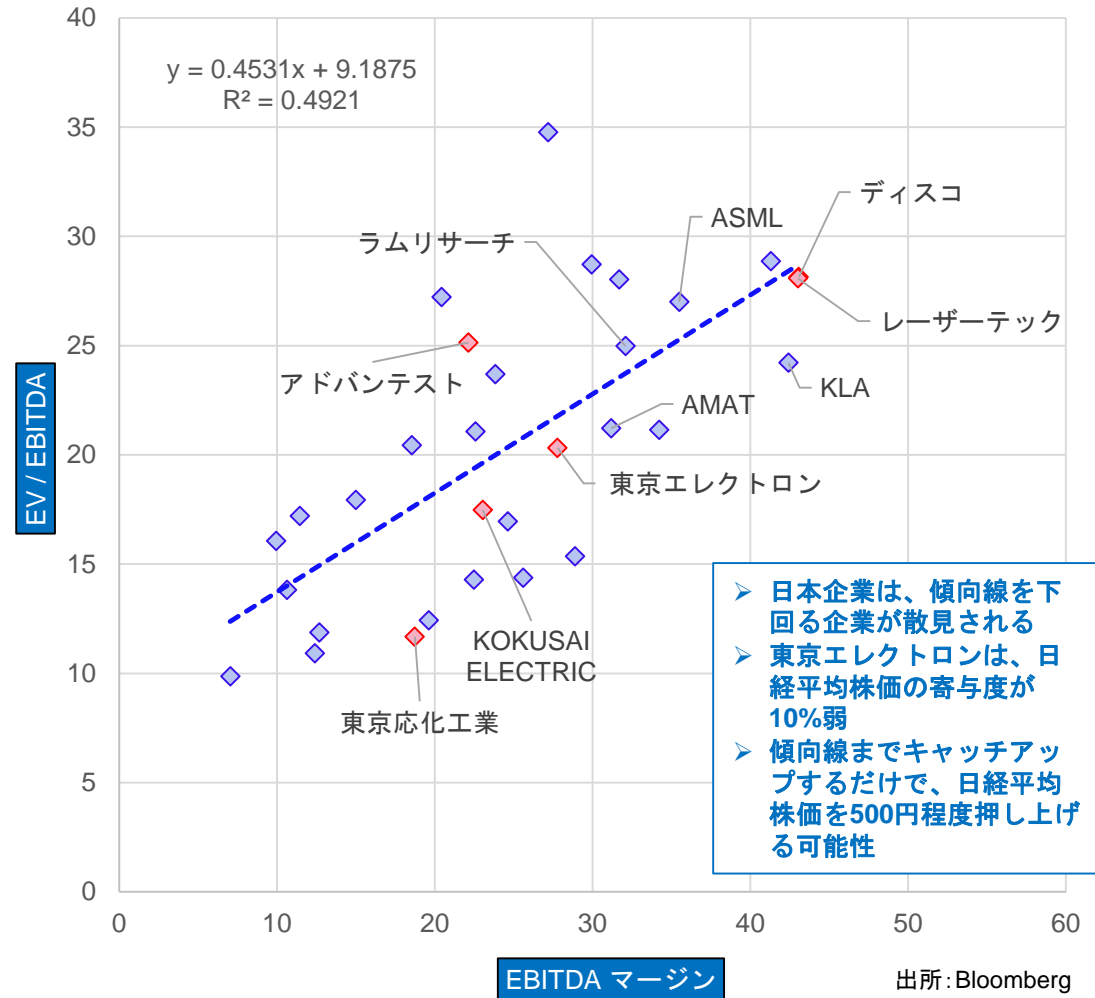
◎注意事項をよくお読み下さい



◎今後の注目ポイント① : 日本のハイテク株に見直しの動き？

- ▶ 日本株は7月に入り再び上昇基調となり、日経平均株価は最高値を更新した。業種別では、電気機器や精密機器等、ハイテク株の上昇が顕著であった。また、主体別の売買動向を確認すると、5月下旬以降売り越し基調であった海外勢が買い越しに転じたことが確認できる。今回の海外勢の動きは、あくまでポジション調整によるものと推察されるが、その資金の多くがハイテク株へ流入した可能性がある。
- ▶ 図表3は、横軸にEBITDAマージン、縦軸にEV/EBITDAを取った散布図である。EBITDAとは、大まかには営業利益に減価償却費を足し戻すことで計算される財務指標である。製造業の様に大規模な設備投資が必要な業種では、巨額の減価償却費が計上されるため、設備投資の影響を除いたベースで利益項目を評価することが適切と考えられる。従って、EBITDAマージンとは、設備投資を考慮した売上高営業利益率と解釈できる。また、EVは企業価値のことで、ここでは時価総額を意味する。従って、EV/EBITDAは、PERの一種で、設備投資を加味した営業利益の何倍の水準で株式が評価されているかを表す。
- ▶ 複雑な話が続きしたが、図表3の意味するところは、利益率の高い企業ほど市場で評価されるということである。ところが、傾向線を引いてみると、日本企業の多くが傾向線の下に位置しており、利益率に比して割安感があることが分かる。海外勢が日本のハイテク株に資金を振り向けた理由の一つであるとみられる。日経平均株価をはじめ、日本株は既に最高値圏にあるが、グローバル対比で割安なハイテク株の見直しの動きが続けば、指数寄与度の大きい銘柄が多いことも相まって、指数を押し上げるドライバーとなろう。

図表3 : EBITDAマージン vs EV / EBITDA (半導体製造装置セクター)



▶ 日本企業は、傾向線を下回る企業が散見される
▶ 東京エレクトロンは、日経平均株価の寄与度が10%弱
▶ 傾向線までキャッチアップするだけで、日経平均株価を500円程度押し上げる可能性

出所: Bloomberg

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年7月))

■バックナンバー(直近発行レポート30本)

No	発行日	テーマ	タイトル
9	2024/5/7	米国経済, 米国株	日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか?
10	2024/5/13	日本株	日米Market View : 日本株需給
11	2024/5/13	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow
12	2024/5/16	日本株	日米Market View : 3月決算企業の本決算と日本株への影響
13	2024/5/17	日本株	日米Market View : 日本株需給
14	2024/5/20	日本株	日米Market View : TOPIX採用企業の株主還元
15	2024/5/21	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用～HRog賃金Now
16	2024/5/23	米国株	日米Market View : エヌビディアの決算とマーケットへの影響
17	2024/5/24	日本株	日米Market View : 日本株需給
18	2024/5/30	日本株	日米Market View : セクター動向
19	2024/5/30	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏賃金動向
20	2024/5/31	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給
21	2024/5/31	日本株	日米欧 Market View : 日本株バリュエーション～日本株の妥当レンジを試算
22	2024/6/4	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏物価動向
23	2024/6/7	欧州経済	日米欧 Market View : ECB<欧州中央銀行>理事会
24	2024/6/10	米国経済	日米欧 Market View : 5月雇用統計
25	2024/6/10	米国経済, 米国株	日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月)
26	2024/6/13	米国経済	日米欧 Market View : 5月CPI
27	2024/6/13	米国経済	日米欧 Market View : 6月FOMC
28	2024/6/14	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給
29	2024/6/19	米国経済	日米欧 Market View : 5月小売売上高
30	2024/6/20	コモディティ	日米欧 Market View : 銅価格
31	2024/6/21	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給 (6月10日～6月14日)
32	2024/6/25	日本経済	日米欧 Market View : 5月賃金オルタナティブデータ～HRog賃金Now
33	2024/6/25	米国株	日米欧 Market View : SP500は楽観シナリオの下で6,200ptへ
34	2024/6/27	日本経済	日米欧 Market View : 5月物価オルタナティブデータ～日経CPINow
35	2024/6/27	日本株, 米国株	日米欧 Market View : 7月日米株バリュエーション～日本：中立、米国：強気
36	2024/6/27	日本株	日米欧 Market View : 日本株6月セクター動向と7月見通し
37	2024/7/5	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(6月24日～6月28日)
38	2024/7/8	日本株	日米欧 Market View : 6月雇用統計

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。